

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ひとりひとりに届く危機対応ナビゲーターの構築

3. 研究開発課題名

マルチビュー画像計測技術によるエネルギー輸送インフラの安全・安心運用の実現

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

河野 行雄(東京工業大学 科学技術創成研究院 未来産業技術研究所 准教授)

5. 評価結果

エネルギー輸送インフラの安全・安心運用を目指す本研究開発は、テラヘルツ波を安全・安心用途に適用した魅力的な課題であると評価され採択された。

探索研究期間の進捗として、デバイスの感度向上やアレイ化、テラヘルツ映像の実証など顕著な成果を上げており、今後の研究開発の進展についても大きな期待が持たれる。

しかしながら本評価時点では、社会実装に向けてリスクが明確になっていない、情報提供手段など「対応」に関する研究課題の検討が十分であることから、探索研究で終了という評価となった。

以上